

慶谷壽信氏著述目録

古代文字資料館

この著述目録は、「慶谷壽信先生著述目録」(『人文学報』第311号、東京都立大学人文学部編集・発行、2000年、5-9頁)を中心として、「慶谷壽信名誉教授著書論文目録」(『慶谷壽信著中国音韻学論集』慶谷壽信教授中国音韻学論集刊行会、2018年、vi-xi)に依り加筆し、古代文字資料館が訂正増補したものである。なお、慶谷氏のノート類の目録が同『慶谷壽信著中国音韻学論集』のxii-xivにある。

(1) 編著書

- 昭和44年5月 董同龢「上古音韻表稿」索引・附訂正表 采華書林 219頁
昭和53年9月復刻版 文海出版社
- 昭和51年12月 「朴通事諺解」索引 采華書林 222頁
陶山信男・讚井唯允・日下恒夫・佐藤進との共編
- 昭和56年3月 『中州音韻』音注索引 東京都立大学近世音研究会 343頁
菊田正信・讚井唯允・日下恒夫・落合守和・増野仁・水谷誠・太田斎・
古屋昭弘・金子眞也・遠藤由里子・鈴木勝則・富平美波・大出あや子・
鈴木和子・乾尋・佐野由枝との共編
- 昭和57年12月 『詞林韻釋』索引(改訂版) 采華書林 354頁
菊田正信・讚井唯允・日下恒夫・落合守和・増野仁・太田斎・古屋昭弘・
金子眞也・遠藤由里子・富平美波・鈴木勝則・中村雅之・大出あやこ・
福田明子・佐々木憲一・鈴木靖との共編
- 昭和59年3月 チョモランマ峰・世界最高峰の奇跡 駿河台出版社 79頁
- 昭和62年9月 音韻のはなし — 中国音韻学の基本知識 — 光生館 251頁
佐藤進との共編(平成7年11月訂正版)
- 平成元年6月 有坂秀世^{言語学}_{国語学}著述拾遺 三省堂 384頁
有坂愛彦との共編
- 平成21年9月 有坂秀世研究 — 人と学問 — 古代文字資料館 KOTONOHA 単刊 No. 4
viii+401頁(第一刷)
平成22年12月第二刷(第一刷に慶谷氏が再度加筆・訂正したもの)
- 平成30年5月 慶谷壽信著中国音韻学論集 好文出版 xiv+667頁
慶谷壽信教授中国音韻学論集刊行会編(慶谷氏逝去の2年後、刊行会
によって編集・刊行されたもの)

(2)論文

- 昭和 40 年 3 月 入声韻尾消失の過程についての一仮説 ——「蒙古字韻」からのアプローチ——
名古屋大学文学部研究論集 XXXVII 149-186 頁
- 昭和 41 年 3 月 「北音入声演变攷」附説
名古屋大学文学部研究論集 XL 45-110 頁
- 昭和 42 年 3 月 音節構成と音韻変化 ——湖北方言における入声韻尾消失の過程——
名古屋大学文学部研究論集 XLIII 17-49 頁
- 昭和 45 年 3 月 敦煌出土の音韻資料(上) — Stein6691v について —
東京都立大学人文学報 第 78 号 121-180 頁
- 昭和 48 年 2 月 敦煌出土の音韻資料(中) — 「首楞嚴經音」の文献学的考察 —
東京都立大学人文学報 第 91 号 1-47 頁
- 昭和 49 年 3 月 敦煌出土の音韻資料(下) — 「首楞嚴經音」反切声韻考 —
東京都立大学人文学報 第 98 号 119-160 頁
- 昭和 49 年 9 月 AA 研白話文語法資料の機械処理
中国語学 第 222 号 1-16&36 頁
橋本萬太郎・増野仁・中川正之・大河内康憲・讚井唯允・佐藤進・鶴殿倫次との共著
- 昭和 49 年 10 月 中國音韻學史上の一問題 ——顧炎武の「二合音」について——
入矢教授小川教授退休記念中國文學語學論集 筑摩書房 23-35 頁
- 昭和 51 年 3 月 敦煌出土の「俗務要名林」(資料篇)
東京都立大学人文学報 第 112 号 81-126 頁
- 昭和 53 年 2 月 「俗務要名林」反切声韻考
東京都立大学人文学報 第 128 号 1-62 頁
- 昭和 55 年 3 月 『玉篇』卷末に附された「五音聲論」について
東京都立大学人文学報 第 140 号 117-138 頁
- 昭和 56 年 10 月 「字母」という名稱をめぐって
日本中國學會報 第三十三集 200-213 頁
- 昭和 56 年 11 月 前史 ——石塚龍麿から有坂秀世まで——
中国語学 第 228 号 85-102 頁
- 昭和 57 年 3 月 濮陽涑『韻學大成』と王文璧『中州音韻』
東京都立大学人文学報 第 156 号 1-52 頁
- 昭和 58 年 6 月 大正大学の有坂秀世講師
国語学 第 133 集 83-93 頁
- 昭和 59 年 3 月 有坂秀世研究のために ——療養生活その他——
東京都立大学人文学報 第 166 号 一～四四頁

- 昭和 59 年 6 月 有坂秀世博士の学士院賞受賞をめぐって
國學院雜誌 第 85 卷 6 号 44-61 頁
- 昭和 59 年 6 月 明代韻書編纂上の一特色 ——内閣文庫蔵の濮陽涑『韻學大成』をもと
にして——
現代方言学の課題 第 3 卷 明治書院 199-238 頁
- 昭和 59 年 11 月 有坂秀世博士の出生の地とその父紹藏博士のこと
言語 第 13 卷第 11 号 108-111 頁
- 昭和 59 年 12 月 有坂博士追悼講演會について
中國文學研究 第十期 早稻田大學中國文學會 89-102 頁
- 昭和 61 年 3 月 有坂秀世略伝試稿 ——出生から高等学校卒業まで——
東京都立大学人文学報 第 180 号 一～四七頁
- 昭和 62 年 7 月 有坂秀世「山東系の一方音について」をめぐって
國學院雜誌 第 88 卷 7 号 60-78 頁
- 昭和 63 年 3 月 有坂秀世「音韻論」(『音聲の研究』第 VI 輯)の成立に関する卑見
東京都立大学人文学報 第 198 号 97-142 頁
- 平成元 年 11 月 有坂秀世博士の卒業論文について
野村正良先生受章記念言語学論集 61-75 頁
- 平成 2 年 3 月 有坂秀世略伝試稿 ——大学入学から卒業まで——
東京都立大学人文学報 第 213 号 一～二五頁
- 平成 2 年 3 月 辞典編纂プロジェクト=中国語音韻資料研究部会の課題
東京外国語大学 AA 研「辞典編纂プロジェクト」
共同研究報告 2 3-13 頁
- 平成 3 年 3 月 『中州音韻』校勘上の一方法 ——毛晃『増韻』との比較——
東京外国語大学 AA 研「辞典編纂プロジェクト」
共同研究報告 3 69-77 頁
- 平成 4 年 3 月 有坂理論の展開 —「音韻變化について」のばあい(上)—
東京都立大学人文学報 第 234 号 一～三五頁
- 平成 6 年 3 月 有坂理論の展開 —「音韻變化について」のばあい(下)—
東京都立大学人文学報 第 253 号 一～四三頁
- 平成 8 年 3 月 内閣文庫蔵の王文璧『中州音韻』校本・校勘記試稿(東鍾韻部分)
東京都立大学人文学報 第 273 号 一～三一頁
吉田雅子・大橋由美・工藤早恵・中川裕三・小寺春水・加護谷春江・岩
崎皇・綾部武彦・鷺巣益美・渡辺宏明・吉池孝一との共著
- 平成 8 年 10 月 有坂秀世『語勢沿革研究』にみえる「vowel-gradation ノ法則」
日本語研究諸領域の視点 下巻 明治書院 1306-1322 頁
- 平成 9 年 3 月 歌戈魚虞模古讀論争の概略

- 古田敬一教授頌寿記念中國學論集 汲古書院 63-82 頁
- 平成 9 年 6 月 歌戈魚虞模古読論争の学史上の意義
橋本萬太郎紀念中国語学論集 内山書店 51-60 頁
- 平成 10 年 3 月 内閣文庫蔵の王文璧『中州音韻』校本・校勘記試稿(江陽韻部分)
東京都立大学人文学報 第 292 号 一~三一頁
吉田雅子・大橋由美・洪性新・更科慎一・石崎博志との共著
- 平成 10 年 10 月 学会小史 ——中国語学研究会創立前後のこと——
中国語学 245 号 水谷誠との共著 183-192 頁
- 平成 12 年 3 月 国際音声字母の中国流の受容
東京都立大学人文学報 第 311 号 11-34 頁
- 平成 12 年 3 月 上代特殊仮名遣研究史の概略
国際文化入門Ⅲ 比較文化篇 長崎外国語短期大学国際文化学科
1-20 頁
- 平成 14 年 3 月 中国音韻学史上の一問題 一刪、山韻と黠、鏗韻との対応関係をめぐって一
中国語学研究 開篇 vol.21 好文出版 1-7 頁
- 平成 18 年 5 月 国際音声学協会のこと
泰山木：財団法人新村出記念財団設立二十五周年記念文集 39-42 頁
- 平成 22 年 12 月 言語学者有坂秀世の生涯
名古屋大学中国語学文學論集 第二十二輯 1-10 頁
- (3)その他
- 昭和 36 年 3 月 重紐の表記に関連して
ことば 24 号 ことばの会・なごや 39-43 頁
- 昭和 40 年 9 月 入声韻尾の消失に関する一問題
中国語学 154 号 大会発表・レジュメ 9-10 頁
- 昭和 41 年 5 月 入声韻尾の消失に関する一問題
ことば 34 号 ことばの会・なごや 15-37 頁 補
- 昭和 52 年 11 月 有坂秀世著『国語音韻史の研究(増補新版)』
中国語 第 214 号 大修館書店 第 6 頁
- 昭和 53 年 10 月 仏教文化と中国語学
中国語 第 225 号 大修館書店 第 35 頁
- 昭和 55 年 7 月 歌戈魚虞模の音価をめぐって
中国語 第 246 号 大修館書店 20-22 頁
- 昭和 56 年 5 月 韻書の歴史
漢字の常識(二) 尚学図書 53-61 頁

- 昭和 57 年 3 月 有坂秀世博士の論文について
言語 第 11 卷第 3 号 大修館書店 118-119 頁
- 昭和 63 年 6 月 有坂秀世「劣敗者の人生観」について
語学漫歩 第八号 東京都立大学中国文学研究室語学懇談会 第 1 頁
附：有坂秀世「劣敗者の人生観」 2-4 頁
『語学漫歩選』（古代文字資料館編 2008 年 10 月）再録
- 平成 3 年 6 月 読書案内「語学」
中国語 第 378 号 内山書店 5-6 頁
- 平成 5 年 2 月 有坂秀世博士のこと
トンシュエ 第 5 号 同学社 8-10 頁
- 平成 5 年 10 月 毛晃『増韻』の効用
水谷誠編『増修互註禮部韻略』索引 崑崙書房 i-v 頁
- 平成 6 年 7 月 水谷眞成先生の横顔
水谷眞成著『中國語史研究 ——中國語學とインド學との接點——』三
省堂 474-481 頁
- 平成 11 年 12 月 「国際音标」(1)
中国語 第 480 号 内山書店 第 1 頁
- 平成 12 年 1 月 「国際音标」(2)
中国語 第 481 号 内山書店 第 1 頁
- 平成 12 年 2 月 「国際音标」(3)
中国語 第 482 号 内山書店 第 1 頁
- 辞典類の項目執筆
- 昭和 44 年 10 月 中国語学研究会編『中国語学新辞典』項目執筆(9 項目) 光生館
舌根音・舌尖音・舌葉音・そり舌音・無声音・有声音・交泰韻・五方元
音・重訂司馬温公等韻図経
- 昭和 47 年 11 月 『アルファ大世界百科 第 112 号』項目執筆(1 項目) 日本メール・オー
ダー社
シナ=チベットごぞく〔語族〕
- 昭和 60 年 6 月 『大百科事典』項目執筆(21 項目) 平凡社
一切経音義・韻書・韻図・韻母・ウェード・音義説・カールグレン・三
十六字母・四声・悉曇・字母・疊韻・西儒耳目資・清濁・声調・声母・
双声・注音字母・等韻図・反切・平水韻
- 平成 30 年 10 月 日本語学会編『日本語学大辞典』項目執筆(1 項目) 東京堂出版
有坂秀世

補：末尾に（以下次号）とある。国会図書館には 34 号までしか所蔵されておらず未確認。